



この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

令和2年3月末日 発行

やまびこ

No.256

発行

公益社団法人
埼玉県手をつなぐ育成会
理事長 高野 淑 恵

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-15-3 母子福祉会館内
Tel. 048-833-0444 Fax. 048-833-0400
E-mail:saitama@ikuseikai.jp
ホームページ <http://saitama.ikuseikai.jp>

定価50円
(購読料は
会費に含む)



理事長
高野 淑 恵

「令和2年度を前に」

平素よりご支援ご協力いただき
ております皆様にご心より御礼申し
上げます。

さて、令和2年度は「報酬改定」
の年です。予算あつてのことです
から、あれもほしい、これもほし
いとは言えません。この何年か、
たくさんの方々のご尽力でサービ
スの拡大が急がれ、知的に障害の
ある子どもを持つ親の時間的・物
理的労苦は軽減されてきました。
しかしながら同時に、質の良くな
いサービスマネジメントも目につく
ようになってきています。サービスマ
ネジメントの質的淘汰を進めること
で、過剰な予算を抑え、良質な事業所
だけを支援し、社会にのこしてい
く厳しいシステムの構築が必要で
あると思います。

障害のある子どもたちにとって
成長期の大切な時期を決して無意
味な時間にしないこと、つまり学
校卒業後の長い人生を支える良
質な支援を受けて、一生ものの感
性や人間性を育んでほしいと願っ
ています。

そして、たとえ障害が重くても
共生社会の一員として地域で暮ら
すことを目指すために、グループ
ホームの土・日、祝祭日の日中報
酬の加算を少しでも改定に盛り込
んでほしいと切に願います。

さてさて、この3月には、「津
久井やまゆり園事件」の公判が始
まっています。罪もない19人の人
間の命を無残に奪い、26人に重軽
傷を負わせた植松被告は、相も変
わらず「障害者はいらぬ」とい
う稚拙な陳述を繰り返していま
す。被害者家族が、「本当のこと
を知りたい、本当のことを聞きた
い」と話されていましたが、植松
被告にはそもそも「本当のこと」
など「無い」のだという気がしま
す。たぶん、この人は感受性や想
像力が全く育まれずに大人になっ
たのです。だから、大切な子ども
を奪われた親の心を想像できない
のです。気持ち伝えるものは言
葉だけではないというこれも想像
できないのです。社会や職場で受
け容れられないのはなぜだろうと
想像する力が植松被告自身にない
のです。「意思疎通」に異常に拘
るのは、自分自身に意思疎通能力
がないからです。なんと貧しい精
神世界で生きてきたことか、事件
後の満面の笑顔の植松被告の顔
は、出来損ないの薄っぺらい仮面
のようで、鳥肌が立つような寒々

しさだけがありました。
人間は空想のできる唯一の生物
です。子どもの頃、空想の世界で、
ありったけの想像力を羽ばたかせ
たときの楽しさ、嬉しさ、そして
現実に戻ってきたときの甘酸っぱ
い切なさ……。そうやって感性を育
んでこなかったがゆえに、植松被
告は人としての喜びも傷みも何も
想像しないのです。

施設職員として利用者ど心がふ
れあつたときの驚きや感動、障害
のある子どもたちの笑顔に救われる親
の喜び。ああ、この子と生きてき
て良かったと心が打ち震える瞬間
の涙の熱さ。それらの喜びは簡単
には手に入りません。苦悩、忍耐、
傷み、そしてそれらを支える豊か
な感性と愛があつてこそ、手にし
たときの感動は人生を変えるほど
に大きいのです。

3月16日に求刑どおり死刑判決
が言いわたされました。
論告に先立って、殺害された利
用者のひとり、美帆さんの母親は
こう訴えていました。

『どんな刑があなたに与えら
れても、私はあなただけを許さな
い。私の一番大事で大切な
娘、美帆を返してください』





又村あおい氏の研修会が関東ブ
ロック大会に引き続き開催されま
した。

研修会に参加して

川島町手をつなぐ育成会 佐藤菊江

権利擁護 推進事業部主催研修会

「知的・発達障害のある人の
意思決定支援について」

～本人の意思をどこまで尊重するか～

日時 令和2年1月28日(火)

10時～12時

会場 浦和コミュニティセンター
13集会室

講師 又村 あおい 氏



今回は「本人の意思、どこまで尊重？」というテーマで知的・発達障がいのある人の意思決定支援のお話でした。重度の知的障がいの方の場合、本人の意思を尊重しているつもりが誘導してないか、意思をどうくみ取ったらいいか、また中度の知的障がいの方は本人の希望とリスクの兼ね合いをどう考えればいいのか等具体例を挙げながらお話しくださいました。

その中で印象深かったのは、法制度上にも「意思決定支援」はきちんと位置付けられている、どんな方にも必ず「意思」あるいは「思い」や「気持ち」があり自分のことを自分で決めることができる可能性を秘めている。それをどのように支援できるのか・・・と考えるのが支援のポイントである。そ

れは「本人にとっての最善の利益を推測すること」で、そのために本人を取り巻く親・支援者等の共同決定の必要性。また本人が理解できる形での情報と見通しをできるだけ客観的に提供し、本人に考えてもらおう環境を作りも大切。等々又村さんのお話は中身が濃く、たくさん情報がありました。

最後に事例は挙げていただきましたが、その正解は無いのだそうです。皆さんが直接お話を聞いて、感じていただくのが一番だと思います。

書籍紹介



タイトル: あたらしいほうりつの本
・改訂版

内容: 福祉サービス、権利擁護、医療など障害のある人の暮らしを支える制度や法令をわかりやすく、コンパクトに解説します。総合支援法2018年4月改正対応。

文: 又村あおい

特徴3

特に知的・発達障害のある人に関係する制度やサービスを取り上げています。

特徴2

説明の文章はできるだけ少なくしてあります。

特徴1

ページの右側が説明の文章、左側が説明のイラストになっています。

皆さんが障害福祉のサービスを上手に使っていくために、この本を活用していただければ幸いです。

「この本の特徴」
この本は、なるべく多くの人が読みやすくなるように、次のような特徴があります。

相談員地区研修会

「どうなる相談員？」

どうする相談員！」

講師 朝日 雅也 氏

(埼玉県立大学 副学長)

【第1回】

日時 令和元年12月13日(金)

(10~12時)

会場 越谷市民会館(越谷市)

【第2回】

日時 令和元年12月21日(土)

(10~12時)

会場 深谷公民館(深谷市)

【第3回】

日時 令和2年1月9日(木)

(10~12時)

会場 埼玉会館(さいたま市)



経験聞きあう

「ピアカウンセリングの勧め」

研修会では

- 支えが不要な人は誰もいない。
- 「ケアの相互性」ケアをしているつもりが、ケアをされている。
- いつまでも助けられる人ではなく、助けることができる。

などの再認識も含む研修をしていただきました。

埼玉知的障害者相談員制度は昭和43年に発足し、知事委託を受けた相談員がそれぞれの市町村で活動してきました。

知的な障害のある人の相談は、同じ悩みを体験している親同士がよいという素朴なところで始まった相談員制度の原点を忘れず、これからも工夫のある研修をしていきたいものです。



久喜市栗橋手をつなぐ育成会主催

「家族支援ワークショップ」

が開催されました。

日時 令和2年1月9日(木)
(10時~12時)

会場 久喜市清久コミュニティセンター



今回は学齢期のご家族が多かったので学習テーマを「家族にも支援が必要です」にしました。日々の中で「自分を見つめ直す」そして「気づき」を体験してほしい！家族支援事業部ファッシー隊は必要あればあなたの街に参上いたします！

参加者アンケート 当日のワークショップについて

- Q. 内容は分かりやすかったですか。
- | | |
|-----------------|----|
| a. たいへん分かりやすかった | 21 |
| b. まあまあ分かりやすかった | 4 |
| c. 少し分かりにくかった | 0 |
| d. だいぶ分かりにくかった | 0 |
- Q. 何か新しい発見がありましたか。
- | | |
|-------------|----|
| a. たくさんあった | 18 |
| b. 少しあった | 7 |
| c. あまりなかった | 0 |
| d. まったくなかった | 0 |

☆参加者の声☆

自分の経験でも役に立てることがあるんだと思いました。



若いママたちの熱心な様子に感動しました。

色々な年齢のお子さん方がいらして、その年齢での悩みがありました。同じ部分が多いので、アイデアを出したり、先の見通しも持てて気持ち楽になりました。



毎回気づきがあります。これからの子どもの生活、親(夫婦)の生活、課題はたくさんありますが、いろんな人の意見や手を借りて乗り越えていけたらと思います。子供の意思決定「選択」をこれからも大事にしていきたいです。グループの方々のお話が聞けて良かったです。ありがとうございました。

二〇二〇年三月末日発行(二五六号)

ハンドルズ動画配信

埼玉県障害者ダンスチーム「ハンドルズ」公演のダイジェスト動画をYouTubeで配信しましたのでご案内いたします。



<https://www.youtube.com/watch?v=gGprOQlk9iw>



関連リンク先
(NHK ホームページ)

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/bb/20191213.html>



埼玉県では、一流のダンサーであり著名な振付家でもある近藤良平氏(ダンス集団コンドルズ主宰)に演出、構成、振付をしていただき、障害者ダンスチーム「ハンドルズ」の公演をこれまで8回行ってきました。

不思議で愉快な個性あふれるハンドルズ公演の魅力をも、多くの方々に見て、感じていただくことで、障害のある方に対する心のバリアフリーの浸透を図るため、この度、『近藤良平と障害者ダンスチーム「ハンドルズ」公演ダイジェスト動画(約4分30秒)』をYouTubeで配信しました。

あわせて、昨年12月公演の際、NHKの取材で放送された特集番組の内容が、NHKホームページに生き生きと紹介されています。貴施設でご覧いただきたくご案内をさせていただきます。

個性あふれる、笑顔わきで、情熱ほとばしる、障害者ダンスチーム「ハンドルズ」のパフォーマンスを是非、ご覧ください！

ハンドルズ ダイジェスト 動画 検索



村山勇治氏感謝の会、令和2年新年交流会

会場 ビストロやま
開催日 令和2年1月25日

14名のご来賓においていただき、総勢62名参加の盛大な交流会とともに、長く理事長でご尽力いただいた村山勇治氏に感謝の言葉と花束を贈呈させていただきました。



あとがき

新型コロナウイルスの猛威が列島を襲って脅威となり、イベントが次々とキャンセル。会報の記事も乏しい限りです。娘の卒業式も保護者は参加できず、我慢の時を過ごしております。不安がすべて払拭される春が迎えられますように！

《事務局 渡邊》

未来あんしんサポート

未来あんしんサポート

親なきあとのこと... お考えですか?

障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配...

この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。

この子への想いを 誰かに引き継ぎたい。

【生命保険】と【信託】が「親御さまの想い」を確実に未来へのこします

障がいのあるお子さまの親御さまは、「親なきあと」の生活がご心配のことかと思えます。「未来あんしんサポート」は、「親あるあいだ」に「親なきあと」をご準備いただくためのご提案です。

「生命保険信託」の仕組みによって、親御さまがお亡くなりになられた場合にFWD富士生命がお支払いする保険金を、みずほ信託銀行がお子さまのための財産として管理しながら、定期的にお子さまにお届けします。

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●株式会社ジェイアイシーは「個人情報」の保護に関する基本方針と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株式会社ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2018年6月1日現在のお取扱い内容に基づき作成しています。

「未来あんしんサポート」とは、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託を合わせたサービスの総称です。

お問い合わせはこちらへ

未来あんしんサポートに関するお問い合わせ

ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル

0120-580-503 通話料 無料

受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

【生命保険募集代理店・信託契約代理店】

株式会社ジェイアイシー

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp

【生命保険引受保険会社】

FWD富士生命保険株式会社

【所属信託会社】

みずほ信託銀行株式会社

登録No.FWD-C1549-1806

公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会